

■ 平成28年度 区政懇談会（下山）

日 時：平成28年5月29日（日）

13:30～15:00

会 場：下山コミュニティハウス



（発言）

避難所の収容人数や開設方法，運営方法を教えてほしい。また，避難所の設備や電気，ガス，水道についての市の方針。発電機や区と交信するための通信設備はどうなっているのか。下山地区で具体的に検討していきたいので市の**避難所運営の方針を**教えてほしい。

（回答）

避難所の開設などの初動対応，避難が長期化する場合の3日目以降の対応を，避難所運営マニュアルとして整備している。避難所の運営は，行政と施設の管理者と自主防災組織の三者の連携が必要になってくるので，平成26年度から避難所運営体制検討会を開催して運営体制の構築に向けて取り組んでいる。災害用の備蓄は備蓄拠点の避難所に物資を保管しており，下山地域では下山小学校が拠点となっている。水やアルファ化米，携帯用トイレ，毛布，おむつなど，すぐ必要になるものは下山小学校に備蓄している。また，現在すべての避難所に一番緊急に必要なものだけを分散して備蓄することを始めている。

下山中学校には，トイレ，毛布，ストーブは置いてある。他の物資は随時拠点から運ぶ予定である。各避難所への物資の輸送や，避難所の運営は，地域や避難所の状況によって違うので，熊本地震の例を検証しながら，区の担当と地域の方，施設の管理者で会議を開催したい。

（発言）

各避難所の検討の際は，避難所開設の担当職員も出席してほしい。実際になにか起こった時に駆けつける人が来なければ意味がない。また，学校は夜間無人になるが，災害が夜発生した場合どの程度役所で協力してくれるのか。

（回答）

業務時間中は，区の決まった職員が避難所開設に駆けつけることになっている。土曜，日曜，

夜間は、市の職員の中で近くに住む職員を指名しており、その職員が避難所に駆けつけて開設することになっている。下山地区は下山小学校に避難したいという方が多いので、どこの自治会がどこの避難所に行くか調整がとれておらず、避難所組織・運営班ができていないので地域の皆様と調整を進めていきたい。

(発言)

備蓄物資の内容や量のリストはあるのか。

(回答)

リストはある。保管場所が少ない問題はあるがどこに何を置くかも相談させていただきたい。

(発言)

保管場所は作ればいい。ストーブを使用する場合の燃料の保管設備がない。飲料水はペットボトルでいいが、トイレの水はプールの水を利用できるのか。

(回答)

それぞれの避難所がどういう状況になっているか、自宅や自治会でどれくらい備蓄を進めていくか、知恵を出し合いながら進めていきたい。

(発言)

分譲住宅の施工業者が歩道上の自動車の乗り入れ口をつくる申請する時、バスの停留所を一時的に移動させ、バス停が無いことにして申請し、許可を得た。申請書が市に来た時点で住宅地図を見ればわかったはずだ。工事終了後は、動かしたバス停をどこに持って行ったらいいかわからない状態になっている。バスの停留所を新潟交通と自治会でどうするか話し合わなければならぬ。自治会に関係することは申請書が出た段階で自治会に話があったらこういったことは防げるのではないかと。行政手続きで許認可がどれくらいあるのか、事前に知っておきたい。

(回答)

行政手続きの許認可等は主に建設課所管の許認可事務である。道路の占用許可、道路工事施工承認、などがあるが地域住民に影響を与えるので、申請の段階で自治会長と連絡調整をする

ように指導している。しかし、今回はそれがうまくいかなかったということで受け止めている。

バス停の設置の件については、業者の申請を鵜呑みにして許可をしてしまい申し訳なかった。現実にバス停をどこに置くか決まっていないので、早急に調整をさせていただく。

→平成28年7月1日に新潟交通と協議を行い、バス停の位置を決定し、新潟交通から発言者に連絡し了承を得た。

(発言)

新川町 325-1～325-13 の地先はかなりの通行量があるのに**非舗装道路**ではこりが舞い住環境が悪くなり困っている。また、その道に接続する用水路沿いの道路も農耕車だけでなく一般車も生活道路として利用し、交通量も多くなっている。安全面からも舗装などの整備が重要である。

(回答)

当該道路は両方とも亀田郷土地改良区が管理を行う私道である。市道認定ができれば市で舗装ができるが、幅員が6m以上ないので市道にも該当しない。市としては私道を舗装するための工事費の3分の2を助成する制度がある。325-1～325-13 の地先の道路は助成基準に該当すると思われるので亀田郷土地改良区と協議して整備を進めていただきたい。用水路沿いの道路はこの制度にも該当しない。農耕道路を一般車両が使わせていただいているのが現状だ。

(発言)

河渡中央公園に手すりを設置してほしい。この公園は一時避難場所だが、避難するには階段を登らなければならない。階段の奥行きが狭く、お年寄りや足の不自由な人は危険である。

(回答)

現地確認をしたところご指摘の通り危険なので、手すりを早急に設置する。
→平成28年8月18日に手すり工事完了

(発言)

避難所は、行政、施設管理、地域が一体となって運営するとのことだが、縦割りという感

じがする。一体となるにはどこが旗を振る考えでいるのか。

(回答)

主体となってやるのはもちろん行政であるが、災害が起こった時に職員が何人駆けつけられるかわからないので、地域の皆様と訓練なり役割分担をしておけば、一番近い地域の方がそこへ駆けつけていただくなど、あらゆる場面に備えて役割を決めておかなければならないが、その体制を作るのは行政である。

(発言)

森沢製作所と桑名病院の間に走っている市道の道幅が、4メートルほどしかない。拡幅の陳情もしたが、建設課の返答は農家の方と土地の折衝をしたが値段が折り合わないで拡幅できないという話だった。しかし、小型の消防車も入れないし救急車も曲がれない。市ではどのように考えているのか。

(回答)

持ち帰らせていただいて、現地を再度確認してからご相談させていただく。
→要望の道路拡幅については、市街化調整区域内の生活道路であり、周辺環境（ポンプ小屋などの支障物件）を考慮すると、全体的に拡幅することは現時点では困難である。以前、車の転回広場部分を整備した際に、地元自治会と市で交わした無償借地する方法であれば、部分的に整備できることを平成28年6月24日に発言者に説明した。今後、地元で検討するとのこと。

(発言)

下山小学校の旧校舎のときは正門前に横断歩道があったが、新校舎になって正門が別の場所になったため、子どもたちが横断歩道を渡らずに正門前の道路を横断するようになった。**横断歩道を正門前に動かしてほしい。**

(回答)

通学路は、学校と建設課、関係部局が集まって定期的に点検をしている。もう一度関係部局と相談して必要であれば警察にお願いすることになる。

→東警察署、下山校区青少年育成協議会、下山地区交通安全協議会、民生児童委員、主任児童

委員，下山小学校 PTA，下山小学校，東区教育支援センターとで下山小学校正門前の横断歩道について懇談を行った結果，横断歩道及び通学路は現状のままで，通学路に関する指導を徹底することになった。

(発言)

河渡中央公園の林間歩道を歩いていたら，小学校高学年の男の子が自転車でブレーキもかけず，猛スピードで走ってきてぶつかりそうになった。**林間歩道を自転車が通っているのか。**いけないのなら，事故防止と子どもへの周知徹底を図っていただきたい。

(回答)

公園は原則自転車の通行は禁止されている。車止めや看板の設置等の対策を考える。
→平成28年6月30日に注意看板を設置済

(発言)

避難所の運営体制について，ワークショップを受けたが説明ビデオを見て事例検討するのみだった。しかし地域に求めるのは避難所運営の組織作りである。施設の管理者は施設の説明をするだけ，区は組織の立ち上げのみであとはお任せといったように主体的に関わろうとしていない。説明がないので地域はどのように組織づくりを行っていいかがわからない。

(回答)

避難所の運営は地域の皆様の協力がないと立ち行かなくなる。区としても今まで以上にわかりやすい説明の方法を相談させていただく。

(発言)

河渡中央公園の草刈りをお願いしたい。3月に公園で放火があったが，建設課が草を刈っておいてくれたおかげで大事には至らなかった。今年も7月上旬と10月下旬くらいに草刈りを実施してほしい。

(回答)

草の生え具合を見ながら，後日返事をさせていただきたい。

→平成28年6月1日に連絡し，昨年同様に7月と9月頃に行う旨説明し，了承された。